



おかやま

発行 郵政産業労働者ユニオン岡山支部
連絡先 岡山市北区中山下2-1-1
岡山中央郵便局 5階
郵送先 700-8799 私書箱222号

今は年末年始繁忙期ですよね？

今年も1年で一番忙しい時期がやってきました。皆さん、要員不足の中かなり過酷な業務に追われている事だと思いますが、しんどい時は無理せず休みましょう。

しかしながら、深刻な要員不足の中、会社は現場の事は一切思いやることなくこれまで通り「超勤は1.5hまで営業もやり、会議開始までに帰局し、売上を伸ばすためタウンプラスも配り、かなり増えた小包も変わらず行き、事故やミスは絶対しないように」等の指示に「無茶苦茶だ」といった悲鳴が現場からあがっています。

同業他社は「繁忙期はたとえ採算が取れなくても信頼第一に要員をなんとしてでも確保に努める」「置き配等を推奨し再配達削減に取り組む」等、現場の事をもう少し考えています。少なくとも繁忙期にもかかわらず配達しているはずの時間から会議を開始するようなことはしないでしょうね。要員不足の中、最繁忙期にタウンプラスを配る無計画さも無いでしょう。繁忙期突入前に前倒ししているはずです。また、数少ない、繁忙期では特に当然ともいえる「フル配置」の日にも特約営業の為に減区同様の状態に。なぜ繁忙期に？との声も。「社員を大事にする」気は無いのですか？点呼で体調・疲労疾病を聞かれ、正直に答えるとほとんど配達員はいなくなるでしょうね。「事故撲滅」など頭の片隅にもないので？とすら思ってしまいます。この状態で事故やミスをせず不正確な機械の計測で急加速・急減速は平均5回まで？ならば管理者にまで昇進した方々に見本を見せていただきたいものです。

報道では「更なる人員削減」「業務の効率化」等の発表がありました。更に人員削減ですか？これ以上何を効率化するのでしょうか？こちらからも提案しましょう。「人員削減・効率化」と主張している方々こそ「効率化」されるべきであると。自らの昇進・体裁など顧みず自身の身を切る改革、お客様が真に望む施策を求めます。

「会議だけ」実は「1人で決められないに流リーダー」？

繁忙期に入ってからも会議づくめ。その為に班長や担当者はご飯も食べず配達終わるまで休まず「出っ放し」。残った班員も会議出席者のフォローでパニック状態。現場からは「繁忙期に入って逆に会議増えてないか？」「せめて配達終わってから超勤対応で。小包多いしタウンもあるし焦ってしまっても仕方ない」といった声も。

ネット上では「会議の数と成果は比例しない」「成果が出ないから会議に逃げている」「自分で意思決定できない、責任を取りたくないリーダーが集団の場に逃げ込んでいるだけ」などと、すぐに会議を開きたくなるリーダー・組織を批判し「そんな人はリーダーに向いていない」といった意見すらあります。そのチームは疲弊し士気が下がる、といった事まで言っています。

この会社は繁忙期にもかかわらず様々な会議を多く開いているわけですが、現場やお客様の思いに寄り添うどころか上記にすごく当てはまるような気もしますよね？

職場のあれこれ、記事募集中！ ご意見等下記メルアドへ

[連絡先] Eメール : postunion_okayama@yahoo.co.jp

お問い合わせ

